

CROSS TALK

若手職員 × 新規採用職員

4人の先輩たちに岐阜県で働く
魅力について聞きました

岐阜県を選んだ理由・試験対策

村岡 幼い頃から生き物や自然が好きで、よく川遊びや山で秘密基地づくりをしていました。大学生になり就職を考えた時、幼い頃の好きの延長線上で「自然に関わる仕事がしたい」、「地元の岐阜県で働きたい」というふたつの思いが強くあって、岐阜県職員に森林科学職があることを知り、「これだ!」と思って採用試験を受験しました。

僕はSPI方式で受験しましたが、問題の傾向や時間配分を意識しながら勉強していました。他にも、大学のキャリアセンターで面接の練習をして、フィードバックをもらいながら面接の場に慣れることを大切にしていました。

古山 私は、民間企業に勤めていましたが、幅広い仕事に挑戦できるところや、子育て中なので育児との両立支援が充実し

ている公務員に興味がありました。岐阜県職員を選んだのは、本庁舎がとても綺麗で働きやすい雰囲気があったことと、本庁舎内に「ぎふっこ保育園」があるので、子どもに何かあってもすぐに駆けつけられるところに魅力を感じたからです。

私もSPI方式で受験しました。参考書を1冊買って勉強して、面接対策は、質問されることを想定しながら、どのように答えるかを準備して面接に臨みました。

長谷部 庁舎が綺麗なのはポイント高いですね。私は大学進学タイミングで岐阜県を離れましたが、岐阜県の自然の豊かさや人の温かさをいつも感じていて、帰って就職しようと思いはじめました。大学では過疎地域の支援や対策を学んでいたこともあって、地域支援に興味が湧くようになり、行政職は、観光や文化・産業振興など幅広い分野から県内全域を支援できることを知ったので岐阜県職員として働くことを選びました。

私は従来方式で受験したので、1日のスケジュールを立てて計画的に勉強していました。面接対策は、県がどんな政策に力を入れているか、自分は職員として何がしたいのかを説明できるように整理しました。

水野 僕の志望理由は2つあって、1つ目は地元の岐阜県で多くの人と触れ合える仕事がしたいこと、2つ目は、ワーク・ライフ・バランスが可能な職場で働きたいことでした。就職先を調べていくうちに観光、産業、教育といった多種多様な業務があって、幅広い年齢層に対してアプローチできるのは県職員だと知り、休みもしっかりとれて、バリバリ頑張ることのできる職場環境に惹かれて岐阜県職員を選びました。

試験対策は、筆記試験は時間配分を意識しながら、得意な分野を伸ばすことに重点を置き、面接は「伝える」ことを意識して、職員としてやりたいことを簡潔に伝えられるようにしました。



私たちがだからできる！
岐阜県の魅力を伝えたい！

行政

市町村課

長谷部 主任 入庁7年目

配属歴 H31 採用 公共交通課
R3 美濃土木事務所
R4 現所属

森林科学

森林活用推進課

村岡 技師 入庁1年目

行政

産業人材課

古山 主事 入庁1年目

事務

出納管理課

水野 主事 入庁5年目

配属歴 R3 採用 西濃教育事務所
R6 清流の国ぎふ文化祭推進課、
都市公園課
R7 都市公園課
現所属